

## 1. 労働金庫に対するモニタリング

- 労金業界では、勤労者のための福祉金融機関として、勤労者の様々なライフステージに応じた潜在的な金融ニーズの掘り起こしや、それに応えるサービスの提供、新たな取引先の開拓や会員との取引深耕を通じて収益源の多様化に努めているものと承知。
- こうした取組みを含め、持続可能なビジネスモデルを構築するための各種取組みについて、引き続き対話を実施させていただきたい。

(以上)